

「盲学校へようこそ！」 奈良県立盲学校 専攻科理療科1年 荒木 まさみ

現在、盲学校に通っておられる皆さま、また卒業された皆さまは盲学校に通って良かった！と思われませんか？ わたしは奈良県立盲学校に入学してまだ2か月程ですが、入学できて本当に良かったと思っています。入学を歓迎して頂き、毎日安心して学校に通い、座学や実技の授業、クラブ活動にも楽しく参加させていただいています。覚えることがたくさんで気が遠くなることや疲れることもあります、国家試験に合格する！という明確な目標を持って勉強できて本当に楽しい毎日です。

今は先生方や生徒の皆さんのおかげでそのように感じる事ができていますが、入学を決めるまでにはたくさん迷いました。わたしのような者が盲学校でお世話になってもいいのだろうか？普通の専門学校で学んだ方がいいのではないだろうか？自分の目の障害の程度を考えて遠慮してしまう気持ちや、40歳を過ぎて1から勉強することへの不安がありました。また自分の中に盲学校などの特別支援学校に対してネガティブなイメージがあり、普通の学校に通えるのが一番良い事だと思っていたのも正直なところです。今日はそんな私が奈良県立盲学校へ入学した経緯をお話ししたいと思います。

わたしは網膜色素変性症という病気で主に夜盲や視野狭窄の症状があります。夜盲の症状を自覚したのは高校生の時でしたが、実際に診断を受けたのは20代後半、結婚して子供も生まれた後の事でした。その当時、視野狭窄はあまり進んでおらず、日中の視力もあり、自覚症状は夜盲だけでした。ですので、難病と言われてもピンときませんでしたし、ショックを受けることもありませんでした。そのうち通院もほとんどしなくなりました。

しかし最初の診断から10年以上経った頃から、明るい所も苦手になり家のカーテンは年中閉めっぱなしになりました。物が見つからなくて探すことや、仕事でミスをする事も増えました。階段などの段差が見えづらく、落ちたり躓いたりして怖い思いをしたり、ケガをすることが増えました。街中をゆっくり慎重に歩いていると急いでいる人に邪魔だと言わんばかりに舌打ちをされたり、わざとぶつかっていく心無い人もいたりして、トラウマで人の多い所や知らない所に出かけるのが怖くなりました。元々、活動的な方だったので自分が急にのろまになったように感じ、イライラしたり落ち込んだりしました。

目が悪くなってきている事を自覚してからは、目を使わない仕事をしようと、リラクゼーションサロンが経営するスクールに通い、ボディーケアやオイルトリートメントなどを習いました。しかし、習った技術に物足りなさや不安が残り、またそのサロンの経営状況や雇用契約の内容などから、そこで仕事をし、生計を立てていくというビジョンは見えてきませんでした。また、リラクゼーションサロンは室内を暗くしてあるので、私のために明るくしてほしいとは言いづらい状況でした。生計を立てるために確かな技術や資格が欲しいと思い、改めていろいろと調べるうちに盲学校の事を知りました。

奈良県立盲学校に初めて訪れたのは昨年8月、学校見学、体験会のイベントでした。天気が良く、暑く眩しい日だったので、屋内に入った時、目がかすんで見えづらかったのですが、

詳しく説明しなくても先生方が気遣って下さいました。個別に時間を取って話もゆっくり聞いていただきました。親切にさせていただいて感激でした。視覚に障害をお持ちの生徒さんたちもイベントのために働いておられるのがとても印象的でした。その後もオープンスクールなど、学校へ伺うたびに話を聞いて頂いたり、電話を頂いたり、非常に親身に細やかな対応をしていただきました。幅広い年齢、視力の障害の程度も異なる方々が学んでおられることを知り、自分もここにきていいのだ、ぜひお世話になりたい！と思うことができました。

実際に入学してみると、学校の造りや設備、ルールなどに細かい配慮がなされていますし、困っていることがないか何度も聞き取りをして下さいます。私が困っていることを私自身より解って下さっているように感じてとても安心しました。先輩の生徒の皆さんも親切で色々教えて下さるので、怖がったり気後れしたりすることなく毎日安心して通うことができます。これは民間の専門学校では難しいことだったと思います。

世間には、かつての私のように盲学校の事をよく知らなかったり、敷居が高いと感じたりネガティブなイメージをお持ちの方もたくさんいらっしゃるかもしれません。専門の先生方や理解しあえる仲間と学べる機会がある事、この学校の安心感や楽しさを多くの人に知って頂きたいと思います。

今は甘えさせていただいてばかりですが、まずは自分自身が国家試験に向けてしっかり学ぶこと、そして学校内の活動だけでなく、地域の方や入学希望の方を対象とした行事にも積極的に参加していけたらと思います。次はわたしが「盲学校へようこそ！」と歓迎したいです。

ご静聴ありがとうございました。